

天皇皇后両陛下 行幸啓



天皇皇后両陛下が稲むらの火の館へご来館されました。両陛下は、9月26日紀の国わかやま国体開会式ご臨席のため和歌山へご来県され、この際、地方事情ご視察の一環として、稲むらの火の館へお見えになりました。

両陛下は「稲むらの火」や津波防災に非常にご関心をもたれ、ご説明に対するご質問もたくさん頂きました。館内をご覧いただきながら、両陛下が奥尻島の津波直後に現地をご訪問されたことや、皇后陛下がかつて「稲むらの火」をお勉強されたことなどを思い出しながらお話されました。

皇太子殿下 行啓

皇太子殿下は、7月27日全国高等学校総合体育大会の総合開会式ご臨席と、地方事情ご視察のために和歌山県をご訪問された際に当館へ来られ、館内をご見学されました。



殿下は、「稲むらの火の館の見学者が減少し、津波への関心が薄れていることは心配ですね。」「最近、広川町で大きな災害はないですか。」と気遣っていただきました。

お帰りの際、お見送りの予定奉送者の前を歩きながら、皆様とゆっくりそして、にこやかにお話されました。

「稲むらの火の館」今年の重大ニュース

今年も残りわずかになって参りました。本年最後の「やかただより」ですので、一年を振り返ってみます。

一面に掲載していますが、今年は何と云っても天皇皇后両陛下、皇太子殿下の御来館という重大な出来事がありました。

両陛下の御来館のことは、「皇室アルバム」「皇室ご一家」のテレビでも放送されました。関係者一同、たいへん名誉なことと喜んでおります。

また、7月には駐日中国全権大使が、9月には島嶼国五ヶ国の駐日大使がご来館されました。



※島嶼国五ヶ国（ミクロネシア、パプアニューギニア、マーシャル、トンガ、パラオ）の駐日大使ご来館

日本政府は現在、「稲むらの火」の教訓を世界に広めるため、11月5日を「世界津波の日」に制定しようと国連に提唱していますが、各国駐日大使のご訪問はその一環でした。

今年は新たに「稲むらの火講座」を開催しました。第一回は、小泉八雲のひ孫さんで、島根県立短期大学の教授をされている小泉凡先生

に、「オープン・マインドで生きる～濱口梧陵と小泉八雲をめぐって～」というテーマでご講演いただきました。

第二回は、四天王寺大学教育学部長・教授の曾野洋先生に「濱口梧陵と福沢諭吉のコラボレーション」についてご講演いただきました。

こうした「稲むらの火」に関連する講演を通して、津波防災を啓発していきたいと思っております。

テレビ取材・放送もいろいろありました。

テレビ和歌山の「国土強靱化が郷土を守る」の番組では、当館の紹介をはじめ、西岡町長のインタビューや、「広村堤防」と防災をテーマに何回か放送されました。

「あの町この村ぶらり旅」という番組では、【和歌山のおばちゃん】こと桂枝曾丸さんが取材に見えました。

和歌山県の情報番組「きのくに21」では、「津波防災の日」特集で当館のことが放送されました。



※津浪祭 小中学生堤防へ土盛りの様子

<稲むらの火の館の紹介>

濱口梧陵記念館／津波防災教育センター

〒643-0071 住所 広川町広671

TEL: 0737-64-1760 / FAX: 0737-64-1761

<http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamurano-hi/>

*開館時間：午前10時～午後5時（受付終了4時）

*休館日：月曜日・火曜日（祝日開館）

年末年始（12/29～1/4）

*記念館だけの入場は無料です。

